

病気のときの食事管理のポイント

	推奨フード	
	犬	猫
肥満		
<ul style="list-style-type: none"> 満腹感を維持して摂取カロリーを抑える低カロリーで高繊維の食事を与えましょう L-カルニチンを多く含む食事を与えましょう 猫には低炭水化物、高蛋白質の食事を選択できます 	r/d w/d	r/d m/d w/d
猫下部尿路疾患／尿石症	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 炎症の管理に役立つオメガ-3脂肪酸を多く含む食事を与えましょう 尿石の原因となる蛋白質やミネラル分を適度に制限した食事を与えましょう 尿pHを適切な範囲に維持するよう考慮した食事を与えましょう 	c/d s/d w/d u/d	c/d マルテケア s/d w/d
食物アレルギー	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> アレルギー症状を起こさないために、小さく分解(加水分解)された蛋白質の食事を与えましょう 蛋白質の種類を限定した食事を与えましょう 皮膚や被毛の健康を保ち、かゆみの軽減を助けるオメガ-3脂肪酸を含んだ食事を与えましょう 	z/d d/d	z/d d/d
皮膚のかゆみ	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 総合的な栄養バランスに優れ、必須脂肪酸を多く含む食事を与えましょう 食物アレルギーも考慮して、蛋白源に配慮しましょう 	d/d z/d	d/d z/d
関節炎	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 炎症の管理に役立つオメガ-3脂肪酸を多く含む食事を与えましょう 適正なエネルギー代謝のため、L-カルニチンを多く含む食事を与えましょう 軟骨の健康維持に役立つグルコサミン、コンドロイチン硫酸を多く含む食事を与えましょう 	j/d	—
心臓病	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 塩分が制限された食事で飲水量が増えすぎないように注意しましょう ビタミンB群、タウリン、カルニチンを多く含む食事を与えましょう 	h/d g/d k/d	g/d k/d
腎臓病	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 蛋白質、リン、ナトリウムを抑えた食事で腎臓への負担を配慮しましょう 食物繊維、オメガ-3脂肪酸を多く含む食事を与えましょう 	k/d g/d u/d	k/d g/d
肝臓病	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 高品質の蛋白質、高消化性の炭水化物を含む食事を与えましょう アルギニン、亜鉛、ビタミン、L-カルニチンを多く含む食事を与えましょう 	l/d	l/d

病気のときの食事管理のポイント

	推奨フード	
	犬	猫
糖尿病		
<ul style="list-style-type: none"> 血糖値の急激な変化を抑える食物繊維と、L-カルニチンを多く含む食事を与えましょう 猫には低炭水化物、高蛋白質の食事を与えましょう 	w/d	m/d w/d
消化器病	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 消化性の高い食事で少量でも十分なエネルギー補給をしましょう 便の形成や腸管の運動をサポートする適度な繊維を含む食事を与えましょう 適度なビタミン、ミネラルを含む食事を与えましょう 	i/d w/d z/d	i/d w/d z/d
栄養補給(食欲不振、回復期など)	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 体の回復には多くのエネルギーを必要とするため、蛋白質、脂肪を多く含む食事でエネルギーを補給しましょう ビタミン、ミネラルを増強した食事でバランスのとれた栄養補給をしましょう 	a/d p/d	a/d
歯周病	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 歯垢が付きにくく、歯石ができにくい、食物繊維を多く含んだ食事を与えましょう 	t/d	t/d
がん	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 蛋白質、脂肪を多く含む食事を与えましょう がん細胞のエネルギー源を減らすため、炭水化物を制限した食事を与えましょう 免疫を維持するオメガ-3脂肪酸、アルギニンを多く含む食事を与えましょう 	n/d	—
脳の加齢と行動変化	犬	猫
<ul style="list-style-type: none"> 本来の免疫力を助ける抗酸化成分が強化されている食事を与えましょう 脳神経細胞膜の保護に役立つオメガ-3脂肪酸を多く含む食事を与えましょう 	b/d	—

※ 獣医師の指示にしたがって与えてください。

病院名



ヒルズのプリスクリプション・ダイエット
米国産 ドライ製品は、すべて
自然派成分で酸化防止しています。



販売元
日本ヒルズ・コルゲート株式会社
〒135-0016 東京都江東区東陽3-7-13



販売総代理店
大日本住友製薬株式会社
〒553-0001 大阪市福島区海老江1-5-51

愛犬愛猫に関する情報 ヒルズホームページ <http://www.hills.co.jp>

特別療法食のおはなし



特別療法食とは

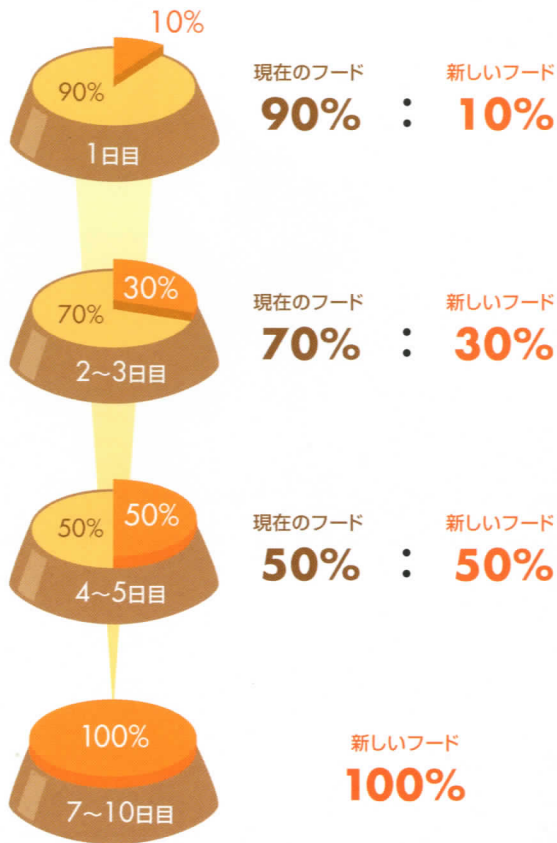
特定の病気などの食事管理に対処するために栄養バランスが考慮され、専門的なアドバイスや指示にしたがって与えることを意図したペットフードのことです。多くの製品は総合栄養食と同等の栄養バランスを満たしていますが、病気を管理するための特殊な組成をもつフードなので、獣医師の指示にしたがって与えましょう。



※ 定期的に獣医師の診察をお受けください。

特別療法食への切り替え方

- 方法 1** 今までのフードに新しいフードを徐々に混ぜていき、7~10日かけて切り替えます。



- 方法 2** 新しいフードを今までのフードの隣においておき、新しいフードを食べはじめた場合には徐々に今までのフードを減らして7~10日で切り替えます。

特別療法食の与え方のポイント

- ① 体温ぐらいに温める
香りが出て食欲が増進します。
- ② 香りづけをする
ペットの好物を少し混ぜてみる。
※病気によっては使用できないものもあるので、獣医師に事前に相談しましょう。



- ③ 手から与える
安心感を与えます。
- ④ ドライフードは水でふやかす
柔らかくすると食べやすくなります。



- ⑤ 食事の時にペットの嫌いなことをしない
薬を混ぜるなど、ペットが嫌いなことが食事と関連して記憶されないようにしましょう。
- ⑥ 食事の前に散歩させる
運動することで食欲を刺激します。



注意事項

- 特別療法食は必ず獣医師の指示にしたがって与えましょう
- 体調やその時の環境などによってなかなか食べないことがあります。その時は必ず獣医師に相談しましょう
※特に猫の場合、2日以上食べないと肝臓に負担がかかるので早めに獣医師に相談しましょう
- 常に新鮮な水を飲めるようにしておきましょう

特別療法食のおやつ

ヒルズのプリスクリプション・ダイエット

トリーツ

低アレルゲン トリーツ



次のプリスクリプション・ダイエットで食事管理をしている犬に与えることができます

トリーツ

犬用 **b/d c/d g/d h/d j/d k/d r/d w/d**

低アレルゲン トリーツ

犬用 **z/d d/d i/d**